

～海外情報～

2012年4月16日 全2頁

中国：人民元の対米ドル変動幅を±1.0%に拡大

経済調査部
齋藤尚登

当面、元高加速は想定されず

[要約]

- 中国人民銀行（中央銀行）は4月14日、人民元の米ドルに対する1日の変動幅を、基準値の±0.5%から±1.0%に拡大すると発表した。4月16日から実施される。
- 今回の変動幅拡大により、元高が加速する訳ではない。そもそも変動幅は、当日朝に中国外為取引センターが発表する基準値に対するものであり、そこには中国人民銀行の意図が強く働く。2011年は輸入物価上昇を元高によって一部相殺すべく、年間5.1%の元高が進んだが、今年はその必要性はなく、輸出企業への配慮からも年間で2%程度の緩やかな元高にとどまるとみている。

人民元の対米ドル変動幅を±1.0%に拡大

5年ぶりの変動幅拡大

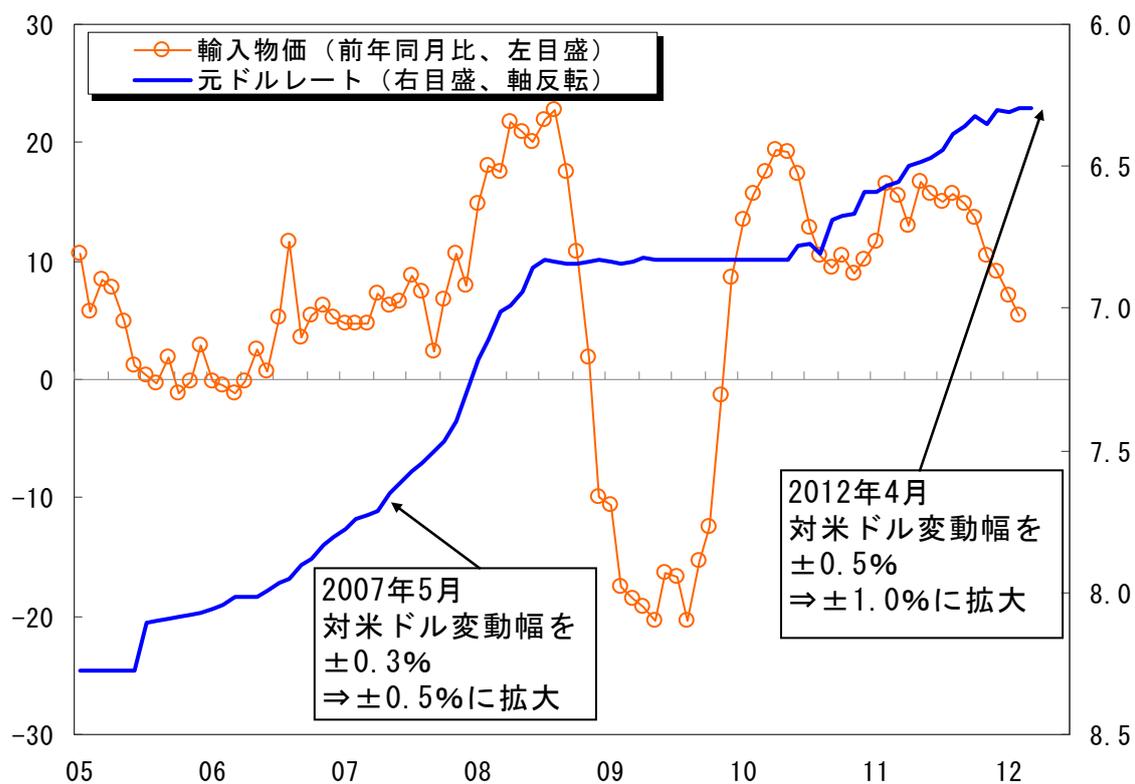
中国人民銀行（中央銀行）は4月14日、人民元の米ドルに対する1日の変動幅を、基準値の±0.5%から±1.0%に拡大すると発表した。4月16日から実施される。変動幅拡大は、2007年5月に±0.3%から±0.5%に拡大されて以来、約5年ぶりとなる。①対米ドルレートは、2005年7月の人民元切り上げ以来、2012年4月13日までに累計で31.6%の元高が進展している、②貿易黒字の縮小などもあり、名目GDPに対する経常黒字の比率は2007年の9.7%から2011年には2.7%に縮小した、ことから明らかなように、今回の措置は、欧米からの元高圧力への配慮ではなく、人民元の国際化を目指した長期戦略の一環と捉えられよう。

当面は緩やかな元高を想定

今回の変動幅拡大により、元高が加速する訳ではない。そもそも変動幅は、当日朝に中国外為取引センターが発表する基準値に対するものであり（前日の終値ではない）、そこには中国人民銀行の意図が強く働く。温家宝首相が、3月の全人代の記者会見で「人民元は均衡水準に近付いた可能性がある」ことを指摘したように、昨年11月以降の人民元の対ドルレートは、月次でも元安局面が出現するようになっている。2011年は輸入物価上昇を元高によって一部相殺すべく、年間5.1%の元高が進んだが、今年はその必要性はなく、輸出企業への配慮からも年間で2%程度の緩やかな元高にとどまるとみている。

以上

輸入物価(前年同月比)と元ドルレート(軸反転)の推移(単位: %、元)



(注) 元ドルレートは軸を反転しており、上方ほど元高

(出所) 商務部、中国人民銀行より大和総研作成